

楽しく学び つながり 活かす 生涯学習

はむらの 教育



小学校区文化財散歩⑤（武蔵野小学校）
羽村三中の土器展示

武蔵野小学校区内に位置する羽村第三中学校1階には、縄文土器が展示されています。これらは羽村三中から離れた新奥多摩街道沿いの遺跡から発掘されたものです。出土文化財の活用のために、普段、遺跡を身近に感じることのできないこの場所に展示しています。

乳幼児期

少年期

青年前期

青年後期

壮年期

高齢期

シリーズ楽しく学びつながり活かす生涯学習①

羽村市生涯学習基本計画

平成24年～33年度

生涯学習基本計画の特徴は、市民の人生における継続的な学習ニーズに応えるため、「ライフステージ」に沿って、それぞれの課題を明らかにし、その上で必要な学習の機会や学習の場、学習の成果を活かすための場の提供など、市民の学習活動を支援していただくとするものです。

問合せ 生涯学習総務課



ライフステージ

今回の計画では、人生を次の6つのライフステージに分類し、それぞれの時期に見られる特徴から施策の方向性を導き出し、その方向の道筋にある現状と課題を整理し、推進施策を示しています。

乳幼児期（0～5歳）

施策の方向1 基本的な生活習慣を確立し、心身の発達を促すための支援をします

主な事業 ▽離乳食講習会▽親子体操▽動物ふれあい事業▽ブックスタート事業▽児童館親子参加事業▽はむら保育展▽幼稚園職員や保育に携わる職員の研修など

施策の方向2 保護者の育児不安を解消し、安心して子育てするための支援をします

主な事業 ▽子育て支援講座▽仕事と生活の調和に関する意識啓発▽母親学級・両親学級▽乳児家庭訪問▽育児に関する相談▽児童館における子育て支援▽赤ちゃん休憩室の設置など

- 乳幼児期（0～5歳）
- 少年期（6～15歳）
- 青年前期（16～22歳）
- 青年後期（23～39歳）
- 壮年期（40～64歳）
- 高齢期（65歳以上）

今回は、乳幼児期と少年期の施策についてご紹介します。

施策の方向3 地域・社会で子育てを支援し、子どもの笑顔をまちづくりの活力につなげます

主な事業 ▽子育て支援者の育成▽小地域ネットワーク活動▽民生・児童委員の活動▽保育園・幼稚園における地域交流事業▽就学相談▽教育相談など

少年期（6～15歳）

施策の方向1 確かな学力が身につくよう支援します

主な事業 ▽小中一貫教育実施計画に基づく教育活動の充実▽特色ある教育内容の実施▽2学期制を生かした教育課程の実施▽学校図書館巡回司書の活用▽小中学生音楽フェスティバルの開催など

施策の方向2 豊かな心が育つよう支援します

主な事業 ▽人権教育推進委員会の開催▽道徳授業地区公開講座の実施▽羽村学（郷土学習）における防災教育の実施▽毎月のおいじめ状況調査の実施▽スクールカウンセラーによる教育相談の実施

施策の方向3 健康な身体の成長を支援します

主な事業 ▽スポーツ推進月間の実施▽校庭の一部芝生化による

運動に親しむ子どもの育成▽学校保健会、学校保健委員会の開催▽食育リーダーの配置▽稲作体験の実施など

施策の方向4 多様なニーズに対応した教育を推進します

主な事業 ▽特別支援教育推進委員会等の設置▽特別支援教室「コミュニティケージン教室」の設置と活用▽学校適応指導教室「ハーモニースクールはむら」運営など

施策の方向5 地域社会で学ぶ機会を充実し、学習の成果を活かせるよう支援します

主な事業 ▽総合防災訓練への小中学生の参加促進▽地域教育シンポジウムの実施▽青少年健全育成の日事業▽市民体育祭への参加促進▽児童文学講演会の実施▽エコ・チャレンジ「環境ファシリティー」の実施▽体験学習の実施など

施策の方向6 健やかな成長を支える環境を充実します

主な事業 ▽地域人材の教育活動への積極的な登用▽学校評議員制度の充実▽家庭教育セミナーの実施▽青少年問題協議会の実施▽スクールガードリーダーの設置▽教育課題研修の充実など

シリーズ
特別支援教育③

特別支援教室モデル事業 モデル地区に指定されました

羽村市は、今年度から3年間、小学校を対象とした「特別支援教室モデル事業」のモデル地区に東京都から指定されました。今年度は「モデル事業検証委員会」を設置し、事業の内容・方法を検討していきます。そして、平成25・26年度に巡回指導の先行実施および課題等の検証を行い、東京都に報告することになります。このモデル事業を実施していく中で、羽村市の特別支援教育の一層の充実を図っていきます。

少年期

特別支援教室イメージ図

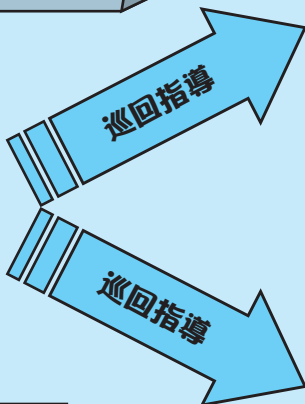
★3校(A・B・C校)で一つのエリアを形成

- ①拠点校(A校)の教員が、特別支援教室(B校・C校)に、週2回程度の巡回指導を実施
- ②より専門的・重点的な指導が必要な児童は、B校・C校からA校に通級(従来どおり)

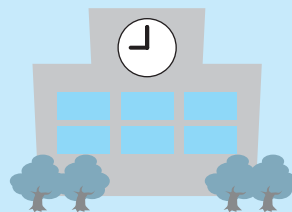


A校 特別支援学級
【通級指導学級】
拠点校

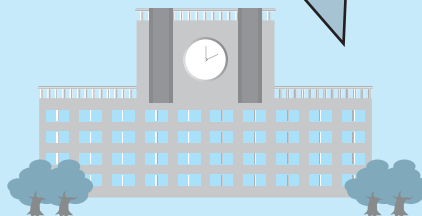
- ◆通級してくる児童・生徒への指導
- ◆特別支援教室への巡回指導・相談



B校 特別支援教室



- ◆校内通室児童・生徒への指導
- ◆校内委員会の運営
個別指導計画の作成と活用



C校 特別支援教室

東京都では、平成28年度以降、すべての小・中学校に「特別支援教室」を設置し、学校・学級における特別な支援を必要とする子どもたちへの支援体制を整備するとともに、指導内容・方法の充実を図ることをめざしています。

具体的には、通級指導学級設置校を拠点校とし、3校で1つのエリアを形成します。拠点校である通級指導学級の教員は、他の2校の特別支援教室へ巡回して当該校の子どもたちの指導を行います(特別支援教室イメージ図参照)。特別支援教室には、現在の通級指導学級を利用している子どもたちの指導内容の全部又は一部を在籍校で担う機能や、在籍学級におおむね適応しているが一部特別な指導を必要とする子どもへの個別支援を行う機能などが期待されています。

..... 「特別支援教室モデル事業」説明会

学校の教職員や保護者を対象とした説明会を実施します。興味のある方は当日直接会場までお越しください。

日 時 7月3日(火) 午後3時から

会 場 市役所4階特別会議室

問合せ 教育相談室

特色ある教育活動

人間学(キャリア教育)・羽村学(郷土学習)は、羽村市独自の特色ある教育内容です。

動物ガイド「人間学(キャリア教育)」

5月25日(金)羽村市動物公園では、富士見小学校の4年生が1年生に対して「動物ガイド」を行いました。これは、人間学(キャリア教育)のひとつで、動物ガイドを行う上で必要な情報活用の仕方やコミュニケーションの方法について学ぶことを目標としています。

4年生は事前に、旗や小道具を製作したり、市のホームページやインターネットを利用して動物について調べたり、説明を行う時のシナリオやクイズを考えたりするなどの準備を行いました。動物の重さを身近なものに例えたり、長さをリボンや画用紙など(同じ長さに切ったもの)と比べたりするなど、ガイドする相手である1年生にあわせた言葉や表現を使って、わかりやすく説明をしていました。



人間学(キャリア学習)とは、人間関係を豊かにする経験や学習を積み重ねる中で、自己肯定感をもてるようにすること、社会的に自立を図る上で必要な能力や自らの生き方について考えることができるようにすることを目標に、9年間を見通した市内共通のカリキュラムをもとに学習します。

福祉車椅子体験「羽村学(郷土学習)」

5月28日(月)小作台小学校の6年生が車椅子体験を行いました。これは「みんなで生きる人にやさしい町づくり」の単元で、問題の解決や探求活動に主体的、創造的、共同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えるとともに、郷土を愛する心を育てることを目標としています。車椅子に座り、坂道や段差、急カーブなどを体験した子どもたちは、乗り心地やスピードの調整の難しさや怖さなど、また介助者は坂道での重さなどを実感したようです。



「歩いていて、気にならない段差でも車椅子では大きい段差だから、段差をなくしてあげたい。」また「車椅子を利用する人が楽になる工夫をしたい。」など「人にやさしいまちづくり」について真剣に考え意見を出し合っていました。



羽村学(郷土学習)とは、羽村の郷土を愛し、羽村のよさに気付き、これからの羽村に生きる人々の生活、文化や環境などを守っていくことのできる態度と、それらを生かした実践力を育てることを目標に、9年間を通した市内共通のカリキュラムを基に取り組んでいます。



※各校の実態に応じて、学年の入替えやカリキュラムの内容が異なる場合もあります。

つなぐ学びでよう「一緒に すべての小・中学校で小中一貫教育がはじまりました

平成23年度に先行実施した施設隣接型の羽村二中校区に加え、今年4月から施設分離型の羽村一中校区と羽村二中校区でも小中一貫教育を実施しています。各校区の特徴を生かし、さまざまな取組みを行っています。

今号では、各校区での取組みについて紹介します。

小学校から中学校への接続を円滑に

各中学校区では、小学校から中学校への接続を円滑にし、中学校1年生の不安の解消を図るため、小学校教員による中学校授業参観などさまざまな取組みを行っています。



一中校区



二中校区

授業の前後には、生徒たちが小学校教員の周囲に集まり、うれしそうに話しかけている姿が見られました。
生徒たちは、「小学校の先生が会いに来てくれた。」「中学生になっても見守っていてくれる。」と実感したようです。

問合せ 小中一貫教育担当

小・中学校教員の交流
各中学校区では、小学校と中学校の教員が生活指導や教科に関する情報交換を行うなど、教員間の交流が活発になっています。
こうしたよりよい指導のあり方について話し合いを行う取組みは、小学校と中学校の円滑な接続につながると考えています。



一中校区

推進委員会(管理職、推進担当者を中心とした会議)



三中校区

全体会(中学校区の教員が集まる会議)



二中校区

羽村市ホームページでは「小中一貫教育の取組み」を、随時、掲載していますので、ぜひご覧ください。(アクセス方法 市ホームページ⇒羽村市教育委員会⇒小中一貫教育⇒取組み)

乳幼児期

少年期

青年前期

青年後期

壮年期

高齢期

校長先生の「私の一冊」

『走ればみんなとつながれる』

小中一貫教育の中期・後期（小学校5年生〜中学校3年生）の児童・生徒のみなさんに読んでもらいたい本です。

東京箱根間往復大学駅伝競走（箱根駅伝）は正月の催事として有名ですが、そんな駅伝を舞台にした本があります。『風が強く吹いている』（三浦しをん著）です。

高校時代、競技者生活から身を引いた主人公が、同じ大学で、同じアパルトに住む学生たち十人と箱根駅伝を目指す物語です。主人公は『走り打ちこめば打ちこむだけ孤立は深まり、一人になる』と

思っていました。しかし、この無謀な挑戦を始めて『走るという行為は、一人でさびしく取り組むものだからこそ、本当の意味で誰かとつながり、結びつくだけの力を秘めています』と感じるようになります。そして、それは『人生も同じだ』と。

どんな時もどんなことにも人間は決して一人じゃない、つながり、絆があることを強く感じる事ができる一冊です。

羽村第三中学校
校長 淵上勝則

ゆとろぎ創作室無料開放

ゆとろぎでは、夏休み期間に青少年の学習の場所として創作室を開放します。

期間 7月24日(火)〜8月25日(土)
時間 午前9時〜午後5時(正午〜午後1時は閉室します。)
一般利用により開放できない日もあります。

問合せ 生涯学習センターゆとろぎ

図書館からのお知らせ

▼本・雑誌のリクエストは1人上限30冊まで

本・雑誌のリクエストを「1日10冊まで」から「1人上限30冊まで」に変更しました。

今回の変更は、利用者間の公平化を図るとともに、資料を迅速に提供することを目的として、今年4月から実施しています。

▼夏休み期間中の開館時間
期間 8月1日(水)〜31日(金)

本館：午前9時30分〜午後8時
小作台図書室：平日・土曜日
午前10時30分〜午後5時、日曜日
午前10時〜午後5時

※休館日は、毎週月曜日と8月15日(水)の館内整理日です。

問合せ 図書館

第68回国民体育大会リハール大会が開催されます

第68回国民体育大会（スポーツ祭東京2013東京多摩国体）は、東京都で54年ぶりの開催となる、記念すべき大会です。

羽村市では、国民体育大会の花形競技のひとつ「成年女子バレーボール」が開催され、全国からトップレベルの選手たちが、日本一をめざして熱い戦いを繰り広げます。

リハール大会は8月26日(日)

来年の本大会に先駆け、今年度は、リハール大会として第67回国民体育大会関東ブロック大会（バレーボール競技成年女子）が開催されます。

日程 8月26日(日)試合開始時間
午前10時※代表3チームを決定する3試合

会場 スポーツセンター

入場 無料
問合せ 国体推進室

スポーツセンター・スイミングセンター臨時休館

スポーツセンターとスイミングセンターは、施設の改修工事を行うため次の期間、臨時休館します。

スポーツセンター

期間 9月1日(土)〜平成25年4月1日(月)

※トレーニングルームは、平成25年1月から3月の間、午前9時から午後5時まで利用することができます。

※はむら総合型スポーツクラブ「はむすぽ」事務所とNPO法人羽村市体育協会事務局は、期間中も通常どおり開設します。

スイミングセンター

期間 10月1日(月)〜平成25年1月3日(木)

※トレーニングルームと会議室は、期間中も通常どおり利用できます。

※両施設ともに、窓口は火曜日から日曜日までの午前9時から午後5時まで受付を行います。
問合せ スポーツセンター／スイミングセンター

奨学金制度(進学ローン)などのご案内

高等学校や大学等の入学や授業料などに係る奨学金制度をご利用ください。

制 度	対 象			貸付(助成)金額	申込期間	問 合 先
	大	専	高			
日本学生支援機構奨学金 (旧日本育英会)	○	○		30,000円～ (月額)	随時	日本学生支援機構 (奨学事業部)0570-03-7240
東京都育英資金		○	○	18,000円～ (月額)	随時	(財)東京都私学財団 03-5206-7929
私立高等学校等就学支援金			○	118,800円～ (年額支給)	入学先の学 校が指定す る日までに 学校を通じ て申し込ん でください。	(財)東京都私学財団 03-5206-7925
私立高等学校等授業料軽減 助成金			○	102,100円～ (年額助成)		(財)東京都私学財団 03-5206-7925
私立高等学校等入学支度金 貸付制度			○	200,000円 (入学金)		(財)東京都私学財団 03-5206-7926
東京都母子(女性)福祉資金 (修学資金)	○	○	○	18,000円～ (月額)	随時	羽村市子ども家庭部子育て 支援課 555-1111
東京都 受験生チャレンジ 支援貸付事業	○		○	200,000円 (貸付限度額)	随時	(社)羽村市社会福祉協議会 554-0304
生活福祉資金教育支援資金 教育支援費(授業料等)	○	○	○	～65,000円 (月額)	随時	(社)羽村市社会福祉協議会 554-0304
生活福祉資金教育支援資金 就学支度費(入学金)	○	○	○	500,000円 (貸付限度額)	随時	(社)羽村市社会福祉協議会 554-0304
国の教育ローン	○	○	○	3,000,000円 (貸付限度額)	随時	日本政策金融公庫(教育ロー ンコールセンター) 0570-008656
交通遺児育英会奨学金	○	○	○	20,000円～ (月額)	直接問い合 わせてくだ さい。	(財)交通遺児育英会 0120-521-286
あしなが奨学金	○	○	○	25,000円～ (月額)		あしなが育英会 0120-77-8565
交通遺児助成金	○	○	○	60,000円 (年額)		(財)出光文化福祉財団 03-5428-6203

※対象や手続きなど詳しくは、問合先へ

『教育元年』

教育随想



平成24年度から第五次長期総合計画がスタートしました。この長期総合計画との整合性を図り、生涯学習関連施策をライフステージごとに体系化したものが「羽村市生涯学習基本計画」で、本年度を『教育元年』と位置づけ、市民の誰もが生涯学習に取り組みやすいように推進していく、こうというものです。

学校教育においては、小中一貫教育を三校区に引き続き、一中校区二校区において開始して、小中学校それぞれへの乗り入れ授業などを開始し、小学校から中学校への段差を出来るだけならかなものにして学校教育の充実を図ろうとするものです。

また、特別支援学級「マロニエ学級」が羽村第一中学校に開級し、子どもたちの障害を理解し、豊かな人生を送ることが出来るようにするための支援も始まりました。

改めて教育元年にあたり、先人達により構築されて来た伝統ある「羽村の教育」を今、再び更なる発展型へと醸成するために教育委員会委員の一人として、努めてまいります。

教育委員会委員 島田哲一郎

特定非営利活動法人羽村市体育協会および羽村市文化協会は、市や教育委員会と協働して、市のスポーツや文化を推進していくための団体です。

羽村市文化協会

TEL 080-2558-1010

平成24年度総会を開催しました

5月26日(土)生涯学習センターゆとろぎ小ホールで文化協会総会を開催しました。平成23年度の事業報告、一般会計報告および監査報告、特別会計報告、平成24年度の事業計画、会計予算がそれぞれ審議、承認されました。

今年度は、第五次羽村市長期総合計画の初年度となり、生涯学習基本計画がスタートいたしました。

文化協会としては皆様のご協力により更に循環型生涯学習を推進し、芸術・文化の向上に寄与して参りたいと思っております。

文化祭は実行委員会形式で

今年度の文化祭は、新たな組織体制として実行委員会が設置されました。文化協会は、企画運営を全面的に推進する重責を担っております。

今年度も羽村市および教育委員会と連携し、会員一同協力して活動して参りますので、皆様のご指導ご協力をよろしくお願い致します。

特定非営利活動法人 羽村市体育協会 Tel 555-1698

平成24年度通常総会を開催しました

5月19日(土)生涯学習センターゆとろぎで平成24年度通常総会を開催しました。平成23年度事業報告、決算報告、平成24年度事業計画、予算が承認され、新役員が決まりました。

新役員

会長	田村 義明
副会長	本田 文栄、天野 春夫
専務理事	岸浪 一正
常務理事	宮林 真人
総務部長	宮下ミネ子
事業部長	田村志津子
指導広報部長	中溝 正治

※任期は、2年間です

事業推進目標

- 1 加盟団体の組織の育成・強化
- 2 未組織スポーツ団体の育成
- 3 市民皆スポーツの推進
- 4 スポーツによる青少年健全育成
- 5 スポーツ指導員体制の充実
- 6 賛助会員の充実と財源の確保

INFORMATION

生涯学習センターゆとろぎ	Tel 570-0707	国体推進室	Tel 578-8788	小作台小学校	Tel 554-1431
図書館	Tel 554-2280	羽村東小学校	Tel 554-5663	武蔵野小学校	Tel 555-6904
郷土博物館	Tel 558-2561	羽村西小学校	Tel 554-2034	羽村第一中学校	Tel 554-2012
スポーツセンター	Tel 555-0033	富士見小学校	Tel 554-6449	羽村第二中学校	Tel 554-2041
スイミングセンター	Tel 579-3210	栄小学校	Tel 554-2024	羽村第三中学校	Tel 555-5131
弓道場	Tel 555-9255	松林小学校	Tel 554-7800		